

国が指摘する

大阪カジノの大問題

4月14日、国は大阪のカジノ誘致計画を「認定」しました。とはいっても**欠点**ギリギリで、ダメだしの7つの条件付き。入場者・利益の推計値に「根拠が明確でない」と言われ、「大阪を成長させる」根拠もありません。

カジノ「認定」は取消しできる！

手続きに問題(瑕疵)があれば「認定を取消す」(国土交通省)

国土交通省は、手続きに問題(瑕疵)があれば「認定を取消す」と明言。また、「格安賃料」の契約が「差止められたら認定はできない」と回答しています。

「カジノ計画」は法律(区域整備法35条)で取消し可能です！



評価	採点
S	100%
A	80%
B	60%
C	40%
D	20%

「合格ライン」すれすれ
審査委員会の評価点数

657.9点 / 1000点

※1000点満点で600点以上が合格ライン

「認定」と同時に公表された評価点数は合格ラインすれすれ。しかも「地域との良好な関係」「観光への効果」など3つの重要項目で合格ライン(60%)を下回る**欠点**でした。

署名にご協力ください！

国と大阪府・大阪市に対して、
カジノ計画の「認定取消し」
「中止・撤回」を求める署名に
とりこんでいます。



Web署名

国の
報告書

「カジノ計画」の問題点を いっぱい指摘！

国が公表した「審査委員会報告書」には、「認定」なんてあり得ないような問題指摘がいっぱいです。

大阪カジノ計画に住民合意なし！

25の審査項目でこれが最低の評価です！

報告書 「地域住民との良好な関係構築に関しては課題が残る」「一方向の情報発信にとどまらず、IR事業に否定的な人々も含む地域住民と、十分な双方向の対話の場を設け、懸念の払拭を図る取組を求める」

入場者数や利益予測はハッターリ！

入場者数や利益の根拠が不明確！
「観光への効果」も欠点評価！

報告書 「推計値の妥当性に関し十分な評価を行う材料に欠ける面がある」「設定値の妥当性については、その根拠が明確でなく、十分な評価は困難である」

依存症には電子ゲーム機(スロットなど・6400台)がより危険！

大阪カジノは外国と比べ、スロットなどの電子ゲーム機が多く、ギャンブル依存症の危険性を問題視！

報告書 「電子ゲーム機は依存性が高い」「実効性のある早期発見・早期介入のための取組の記載があまり見られない」



ギャンブル依存症対策というなら
カジノは中止を！

